

D&I社会実現のための 学び方・働き方に関する 実証研究



「D&I 社会実現のための学び方・働き方に関する実証研究」は、お茶の水女子大学ジェンダー・イノベーション研究所（IGI）を拠点とする研究プロジェクトです。SIP 課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」、サブ課題 B 「『新たな“学び”』と働き方との接続」の研究開発を担い、D&I 社会の実現を目指します。

【お茶大 SIP の3つの目的】

1. Society 5.0 の実現に資する学び方と働き方について、2 つの実証研究成果をもとに変革を促す
2. ジェンダー・イノベーションの視点（性差、ジェンダー差、インターセクショナルリティ）を考慮した実証研究を行う
3. 実証研究から得られた結果をもとに、政策や実践を通して D&I 社会実現に貢献する

【2つの実証研究】

実証研究 1：高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査

実証研究 2：知・経験の D&I 実現のための家事支援

【実証研究 1】高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査

日本における理工系女性人材育成の加速を図る有効な施策を提言することを目的に、高校生の進路希望、進路選択の自由、保護者や教員からの働きかけの実態についてのウェブ調査を広範囲に実施します。この研究は、学びの分野における多様性を促進し、新たな学び方を包摂する社会を実現することを目指しています。

(1) 研究開発の実施方法

高校生の進路希望、進路選択の理由、保護者や教員からの働きかけ、固定的性別役割分担意識、D&I への意識、将来の職業選択に関する意識等を調べるため、web アンケート調査を実施します。

(2) 独創性・新規性

- ◇ 進路選択だけではなく、高校生の D&I に対する意識も調査する
- ◇ 女子生徒の理工系への進路選択を阻む要因を様々な角度から明らかにする
- ◇ 地域性という視点を盛り込む調査を実施する

(3) 社会実装

- ◇ 全国レベルの調査から多様な高校生のデータを収集して、地域間格差の解決に貢献する
- ◇ 進路選択における効果の高い取組を教育に関する施策として社会実装する

【実証研究 2】知・経験の D&I 実現のための家事支援

D&I の実現と社会への浸透のために、在宅勤務という労働の場としての家庭環境に目を向け、家事労働における家庭内のジェンダー役割の変革を検討して、ジェンダード・イノベーションに基づく家事支援方法を提示します。この研究は、これまでの性別役割分業を脱し、誰もが仕事と生活を両立することが可能な男女共同参画社会を創造するイノベーションの礎になるものです。

(1) 研究開発の実施方法

- ◇ ポストコロナにおける在宅勤務の現状調査
- ◇ 家事・育児に関わる生活調査：家事・育児の経験、性別役割分業、生活満足度、幸福度等について調査
- ◇ 家事動作調査：調理動作を動画撮影しデータベース化し日常的な調理経験や性別による特徴を明らかに
- ◇ ジェンダード・イノベーションによる性別を考慮した家事支援方法の開発

(2) 独創性・新規性

- ◇ 「知・経験」が従来の職場から在宅勤務へ移行した際に家事などの生活スキルに及ぶという想定について、人的資本視点から検討する
- ◇ 家事支援方法の開発において、ジェンダード・イノベーション視点を採用する
- ◇ 本学の附属中学校の家庭科授業内でテクノロジーを用いた生活スキルを検討できる

(3) 社会実装

- ◇ 時間や場所に捉われない在宅勤務と家事・育児について明らかにし、男性の家事支援のためのコンテンツを特定する
- ◇ 中学校家庭科教育における実践的な教材開発を目指す

プロジェクト
Web サイト



お茶の水女子大学 SIP プロジェクト
「D&I 社会実現のための学び方・働き方に関する実証研究」
<https://igi-sip3.cf.ocha.ac.jp/>
事務局: ocha-sip3@cc.ocha.ac.jp

